

# 別中ありがとう

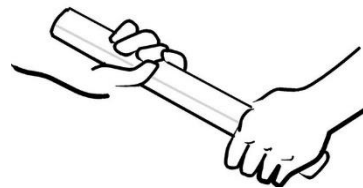
別所中学校学校通信  
2022年度 NO.9  
12月1日(木)発行

## 2学期の締めくくりとバトンパス

9月、体育祭に向けた取組と同時にスタートした2学期も12月を迎え、締めくくりの時期になりました。わくわくオーケストラやトライやる・ウィークなどの学年行事、そして体育祭、文化祭といった学校行事を無事にやり切ると同時に、教科の学習も順調に進めることができ、充実した学期となったはずです。

そして12月はこれまで学校生活の中心を担ってきてくれた3年生から1年生、2年生がバトンを受け取る時期でもあります。先日の3学年が一緒に校則を見直す時間でも3年生がリーダーシップを発揮し、1年生、2年生の意見を引き出すとともに、自分たちの経験をもとに考えを伝えてくれました。自分たちの学校生活を自分たちでしっかり考える、そうした別所中学校の伝統を引き継いだ場面でした。部活動、学校行事はもちろん、日々の学校生活をリードしてきた3年生、その中心となって活躍してくれた生徒会執行部から1年生、2年生がバトンを受け取ります。

次の生徒会は別所中学校第76期の生徒会となります。別所中学校のバトンパスも75回目です。渡す側、受け取る側ともしっかりとしたバトンパスで、別所中学校の歩みを一歩進めましょう。



## 学校で見つけた風景 ～晩秋の日を浴びるのじぎく～



1954年に各都道府県を代表する花を募集したところ、のじぎくが兵庫県の花として選ばれました。以来、漢字では「野路菊」と書き、「真実」「高潔」といった花言葉を持つのじぎくが兵庫県の花として親しまれています。5月に2年生が植え付けを手伝ってくれたのじぎくが校舎南側の花壇で花をつけています。

### 《保護者・地域の皆様へ》

11月25日の期末テスト最終日に別所中学校の校則で何を残すべきか、何を変えなければならないかについて、その理由や根拠などを含めて見直しに取り組みました。学級で出し合った意見をもとに、3学年の縦割り班でさらに議論を深めました。「今ある校則について1・2・3年生で話し合っって色々な意見を聞いて、今後の学校生活に生かせると思いました。」といった感想もありました。出された意見は同じようなものをグループ化するなど集約しています。今後の検討において、保護者や地域の方々のご意見等が必要な場合や変更点が生じた場合には、すぐーる等でお知らせさせていただきます。また、今回の見直しで整理できない課題についても、引き続き検討課題としていきます。

生徒たちが学校生活におけるルールやきまりを自分たち自身で見直し、過ごしやすい集団生活をめざしています。これも別所中学校の伝統を引き継ぎつつ、新しい一歩になればと願っています。

学校長 坂田 直裕